



除染したから帰村せよ、でも・・・わらび園は自粛せよ

東日本大震災から四年。NHKスペシャルは三月七日、東電福島第一原発から三十キロ圏の川内村を放送。

除染で、全村避難は解除された。二十キロ圏の外側は「除染が進み生活基盤が回復する見通しが立った」と国が判断。三年前に賠償を打ち切った。

蕎麦農家は

村人数人は、村から一万五千坪の土地を借り、蕎麦畑にしていた。しかし、そこは除染土

の仮置き場に。今年一月から運び出される筈だったが、中間貯蔵施設未完成で運び出しも始まっていない。

畑が使えないで「生活基盤が回復」？

わらび園は

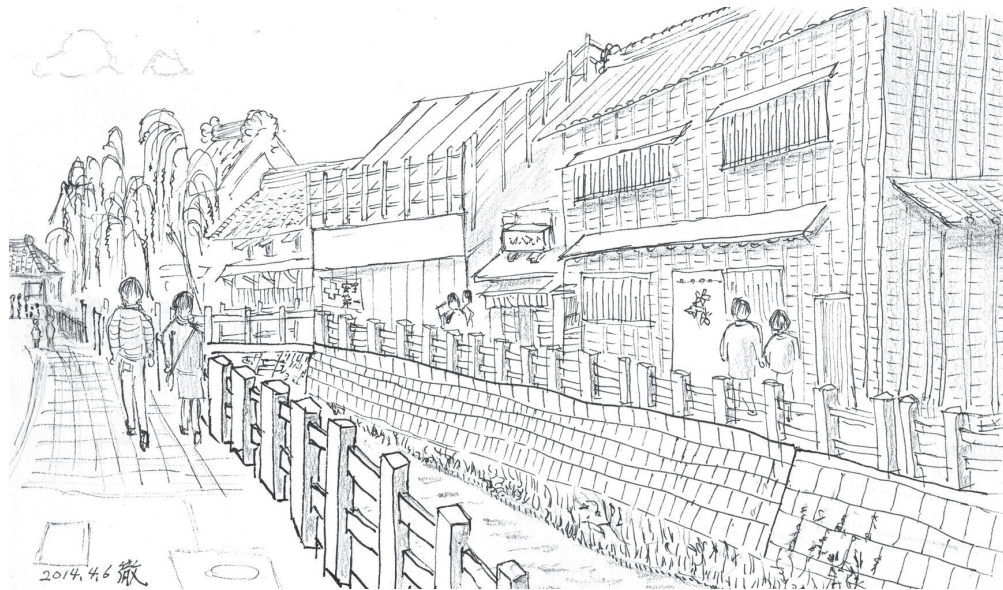
定年退職後「田舎暮

らし体験の農家民宿を」とローンで自宅を建て替え。が、原発事故。除染が済んだわらび園を目玉に民宿を始めようとしたら、福島県は「自粛」せよ。「仮にわらび園で基準を超える放射性物質が検出されたら他の地域にも影響が出る」と。これで「生活基盤が回復」とは云えない。除染したと云っても森は手つかず。それで外から人が来るか？番組に出た人は「仕方ない、仕方ない」の繰り返し。しかし、これは福島原発事故が原因で発生した事態。「生活基盤の回復の見通しも立ったとは云えない。東電は補償せよ」と云った人もいた筈。もしかしたら、そう云った人の声は放送から外したのではないか？みなさんはどう思われますか？

伊能忠敬旧宅

千葉県佐原市

二〇一四年四月



昨年四月、写生会で千葉県佐原を訪問。

佐原は伊能忠敬の出身地。旧宅があるが、残念ながら修復中で大きなテントに覆われていた。

忠敬は日本全国の地図を作る前は、佐原で河岸運送をしていた。テント前の川岸の階段はその名残。忠敬は佐原の名主を務め、後に、名主後見という名主に東ね、監督する地位に就いた。四九才の時、その職を辞し、引退。

江戸に出て幕府天文方の高橋至時よときの弟子となり、天文学を学び測量術を学んだ。五五歳から日本全国の測量を開始。七一歳迄に十次の測量。「大日本沿海輿地全図及び大日本沿海実測録を完成させた。

地図作りは「ご隠居」さんのお仕事。学びたいものですね。

来週はお休みします